

## 第 4 回新宿区文化芸術振興会議（第 8 期） 議事要旨

- 日 時 令和 7 年 12 月 26 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分  
 ■会 場 新宿区役所本庁舎 6 階 第二委員会室  
 ■出席者 委 員：垣内恵美子 星山晋也 芥大輔 藤岡紗絵 松井千輝 工藤真実 西脇芳和  
 大和滋 新井一輝  
 事務局：神崎文化観光課長 原管理係長 宮川文化観光係長 雨宮主任 岸主任  
 ＊敬称略、文化芸術振興基本条例に規定する分野別の順

## ■要旨

## 1 開会

## 2 新委員の紹介

- ・今回から新たに委員に就任した西脇委員が挨拶を行った。

## 3 副会長及び専門部会委員の指名

- ・梅本前副会長（専門部会委員）の退任に伴い、副会長に大和委員を、専門部会委員に西脇委員をそれぞれ指名し、各委員から了承を得た。

## 4 議事

## (1) 「コアイベントの拡充」について

事務局から資料 1～4、西脇専門部会長から資料 6 を説明し、「コアイベントの拡充」について各委員が審議を行った。主な発言内容は次のとおり。

- ・区政モニターアンケートに「よく接する文化芸術のジャンル」として、上位に「オーケストラ」がある。新宿区には新宿文化センターがコンサートホールとして最も中心的な存在としてあるので、そこでどんなものをやるのかということはこれから検討していく必要がある。
- ・オーケストラでは、映画・アニメ・ゲーム系のコンサートが 10 年前にくらべ非常に多くなってきており、日本全国で盛んに行われている。そのあたりもアンケート結果と現実がリンクしており、コアイベントの一つとして入ってくるのではないかと。
- ・文化的なものや芸術的なものと、2つのカテゴリー分けをしたほうが、客が来やすい。
- ・日本では、クラシックコンサートに行く際、襟を正して聞かなければいけないような感じがある。一方、ヨーロッパでは日常生活の中に芸術に接する機会があり、それに接すること自体が文化であり、非常にラフな感じで純粋に芸術を楽しんでいる。
- ・ターゲットは堅苦しいものではなく、外国人でも来られるようなものがよい。SHIN-ONSAI の来場者が新宿区外の方が多いという結果からも、そうした客から発信してもらう方が意外とヒットするのでは。
- ・オーケストラに関しては敷居があまり高くないところが大事。
- ・東京ではこれからナイトライフを充実させていくということがあるので、その中にインバウンドや、区外の方々も来られるような、時間帯も含めていろいろな工夫をしていく余地がある。いいものを作るだけでなく、いいものをどのように届けていくのかということまで考えることが大事。
- ・「本と活字館」は、活字印刷、金属活字印刷の文化を伝えている施設で、資料館というほど堅くなく、気軽に楽しんでいただけるような企画展も催して、いろんな客が来て楽しんでいる。

- ・新宿区や東京都は印刷産業が盛んで、新宿区や文京区には大きな印刷会社があり、その周りに小さな製本会社や印刷会社が集まっている。冗談で雑誌や書籍は東京の特産品とまでいわれることもあり、もう少し区民に印刷のことや書籍の製造工程などを知ってもらうような取り組みをしてもよいのでは。そういったことも含めて、文京区などの隣接する区と連携したイベントも増やしていければよい。
- ・新宿には単館映画館が多くあり、資料に挙げられているような単館映画館では、ここでしかやっていない、ここに来ないと見られないようなものを上映している。こうした文化を区は率先して残していくべき。単館映画の内容はマニアックなものが多く、必ずしも万人受けするような内容ではないが、こうした映画館が存続していくためには区や文化芸術振興会議と一緒に盛り上げていくのがよい。
- ・映画とオーケストラが一緒になって、映画音楽を生のおケストラが演奏してくれるようなイベントがあるが、少し躊躇するぐらいチケットが高い。そのあたりを区が支援していけたら面白い。新宿文化センターを活用し、新宿ならではの内容で、映画とオーケストラコンサートを組み合わせたようなイベントできればとてもいい。
- ・映画「国宝」を絡めて、伝統芸能を見直すという意味で、矢来能楽堂にスポットを当てて啓蒙していくのもよい。
- ・コアイベントのターゲットを区民中心にするとしたときに、区報をよく見ている高齢の世代と、小中高生の子どもを持つ世帯には情報が届けやすいというイメージを持った。
- ・特に中高生に対して文化芸術に影響を受けてほしいという思いがある。
- ・子育てをしていると、学歴がゴールのような競争社会になっていると感じる。中高生が哲学を考える時間を持ったり、何のために生きているんだろうとか、人生を考えたりするときに、文化芸術に触れてほしいという思いがある。
- ・子どもをターゲットとしたイベントを通して、自分たちの地元はいいなと思い、新宿をふるさとと感じられる子どもたちを増やしていきたい。
- ・新宿フィールドミュージアム自体が、区民でつくられているというところが面白い。いろんな人たちが集まってつくられているということがいいところ。しかし、その中でそれぞれが連携することは難しいことだとも思う。
- ・中高生に面白い映画を見せたい。単館系の映画は哲学を考えるのにすごくいいと思う。
- ・今暮らしている方々が楽しいだけでなく、次の世代をどうやって育てていくかということも、新宿フィールドミュージアムの一つの目的としてできればいい。
- ・区政モニターアンケートの中で、フィールドミュージアムの認知度がすごく低いことに衝撃を受けた。
- ・映画に関して興味がある方がとても多いと感じた。単館映画館とコラボをした新宿ゆかりの映画の上映会はとてもよい。新宿は映画やコマーシャルの舞台になるところが多くあるので、そういったところで聖地巡りといったこともできるのではないかな。
- ・新宿御苑や新宿中央公園ではグルメ関係のとても楽しそうなイベントをやっている。当日気軽に参加できるものということに関しては、そのような食べ物に関するものを絡めていくのがよい。
- ・SHIN-ONSAI のチケットが高いと感じる。2人で行くと約1万円ぐらいかかってしまうので、少し気合い入れて行くイベントになっているのではないかな。目当てのアーティストがいないとなかなか行きづらいと感じる。若者に来てもらいたいのであれば、ト一横広場のあたりでやっている野外ライブのように、近くに来ればたまたま音楽を聴くことができるというようなイベントがよい。
- ・新宿は都会で人が集まり、文化的な資源がかなり豊富にあるところなので、そういったことを有効に活用し、来年度以降のコアイベントに生かしていけばよいと感じた。

- ・新宿フィールドミュージアムは、新宿の多様性を理解するには、非常にいいと思っているが、現在の冊子では、主に演劇や音楽、イベント活動の内容が主になっていて、新宿区の歴史的文化財についての取り扱いが少ない。それが悪いというのではなく、そういうものも忘れてはならないと言いたい。
- ・文化や歴史・文化財など、そういう新宿区内の固定されてあるものが消えないように守っていくことも大切。
- ・新宿区は多様性ということが問題になってるが、観光協会が新宿区をいくつか分割してその地域の案内をており、そういう取り組みは非常に参考になると思う。
- ・新宿区が直接関わっていないが、新宿区にある博物館とか新宿御苑のような、そのようなものも巻き込んで一緒に考えたほうがいい。
- ・印刷関係について、神田川沿いの古本屋や製本屋が建ち並んでいたところとか、そういうところを案内する企画も面白い。
- ・まちを深掘りするようなイメージで今後イベントを膨らませていくことも十分可能だと思う。落合にある染色工房とか、漱石山房とか、歴史を担ってきたものをうまく活用することも検討してみてもどうか。
- ・区政モニターアンケートに出ている数値は、全国平均と異なった傾向がでており、新宿の多様な文化資源の集積度合と、そこでやられているもの多さを反映している。
- ・舞台鑑賞や美術鑑賞に高い関心が示されていることも。新宿区の文化の集積を状況を表している。
- ・コアイベントをマルチイベントをするということは、区の予算確保も考えてもらわないと難しい。
- ・区民をターゲットの中心に据えるには、方法論・具体論の話をもう少し詰めないといけない。
- ・SHIN-ONSAI では新宿区外からきている人が圧倒的に多い。都内及び東京以外からいっぱい来ている。さまざまな分野ごとに多様なニーズがあるので、中身を区民に絞るのは手法的に難しい。
- ・価格を安くするとか区民を優先割引きにするなども検討すべき。
- ・フリーのイベントとなると、客が来るかどうかわからないということになるので、美術館系はいいが、パフォーマンス系は客が来ないと大きなダメージになる。そのあたりの工夫は今後の課題だと感じる。
- ・資料6をこれからももう少しいろいろな形で充実させて、どのイベント、どこと連携ができるか、どこにお金を使うかということを決めていかばけれなければならない。
- ・SOMPO 美術館でも区立の小中学生を対象とした「ボランティアによる対話型の鑑賞」を行っていて、新宿区の小中学生は生の本物の絵を見ることができると、とても恵まれた区民だと感じる。
- ・将来の子どもたちに一番効果があるようことを考えることが大事だと感じる。

(2) 「新宿フィールドミュージアム協議会の活性化」について  
事務局が 資料7～9により説明し現状把握を行った。

## 5 その他

- ・事務局から、次回の第5回振興会議は3月頃を予定との事務連絡があった。

## 6 閉会